

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	わくわくお天気・防災教室	事業経緯	継続	実施体制	共催	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

昨今は気象変動に起因する災害が多発しており、新潟県においてもいわゆるゲリラ豪雨が多発するなど気象変動に伴って洪水などの危険性が高まっており、近年でも信濃川流域では死者を出す水害や土砂災害が発生している一方、洪水や土砂災害警戒情報などの予警報発令が十分に理解を得られていない現状がある。

本事業は、主に燕市民(ほか県内在住)を対象に地域住民とその子供たちに水防災意識の向上と知識の普及啓発を行うことを目的とする。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

河川や気象・防災・環境などさまざまなテーマについて、親子向けを念頭にわかりやすく楽しい内容で伝えることにより、災害の恐ろしさや災害に備えることを学び考えてもらう機会となった。講師とコミュニケーションが充分取れる人数で、参加者は楽しくしっかりと学ぶことができ、近年は大きな水災害が多発していることもあり講師の話に聞き入っていた。

参加者へのアンケート調査の結果、勉強になった、また参加したいという多くの回答を得たことから本事業が有益であったことが伺える。

2. 事業実施体制

主催: わくわくお天気・防災教室実行委員会

共催: (一社)北陸地域づくり協会

協力: (株)エコロジーサイエンス

後援: 国土交通省信濃川河川事務所、NPO法人信濃川大河津資料館友の会 燕市、NPO法人気象と地域防災フォーラム

3. 事業概要

日時: 令和5年11月5日(日) 10:00~12:00

場所: 信濃川河川事務所大河津出張所

実施概要:

▶ 気象のお話

講師: 加藤 直樹(気象予報士、防災士)

・新潟の天気、過去の気象災害、災害への備えなどの講話

・洪水の危険性、川遊びの心得、川との関わり合いについて理解を深める

▶ マイ・タイムラインをつくってみよう

講師: 鮎川 一史((一財)河川情報センター 主任研究員)

・洪水の自分事化について理解を深める

▶ 観天望気の書をつくろう

講師: 加藤予報士ほか気象キャスターの皆さん

・「観天望気の書」の作成から気象の不思議について学ぶ

参加者: 燕市ほかの小学生43名、保護者36名



気象のお話



観天望気の書をつくろう



マイ・タイムラインをつくってみよう